



令和4年3月4日

平山郁夫美術館主催セミナー「日本の手仕事」を開催します
3月11日（金）・広島大学ミライクリエ（オンラインあり）

情報提供

緻密で、繊細な手わざから生まれ出る伝統工芸品。かつてはあたり前のように家にあり、暮らしを彩っていた品々。それが今、ひとつ、また一つと姿を消しつつあります。そして、私たちはそのことを気づかずにいる。

伝統技術は一度途絶えると元に戻すことは容易ではありません。この喪失は、私たちの何かを消失させるのではないか。一度、立ち止まり、考える機会があってもいいのではないか。

今回、広島の工芸と「広島大学地域の元気応援プロジェクト」を取り上げ、モノと対話する塗師の声をお聴きします。

日時：2022年3月11日（金）13:30～15:00

開催形式・場所：

対面：広島大学ミライクリエ多目的ホール

オンライン：Zoom（開催前日までにお申し込み時に登録いただいたメールアドレスあてにURLをお送りします。）

※コロナ感染拡大状況によって、対面のみ中止させていただくことがあります。

講師：

伊藤 奈保子（いとう なおこ）

広島大学大学院人間社会科学研究科（文化財学分野） 准教授

蓮池 稔（はすいけみのる）

伝統工芸士（漆塗・箔押部門）

お申込み方法

広島大学のイベント案内をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/69547>

【お問い合わせ先】

学術・社会連携部地域連携部門 三戸

Tel : 082-424-5871

E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

2022年 3月11日 金

13:30 — 15:00

■参加費無料

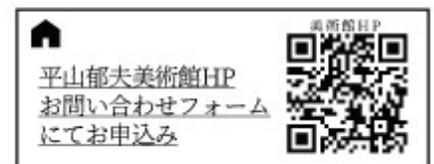
フェニックス国際センター

会場 広島大学 MIRAI CREA

オンライン ZOOM

申込 ・「日本の手仕事講演会申込み」
・氏名
▼お選びください。
・一般/学生
・参加方法
【対面(会場)/オンライン(ZOOM)】

以上を記入して下記までお申込みください。



✉ メールにてお申込み

平山郁夫美術館
info.web@hirayama-museum.or.jp

日本の手仕事

平山郁夫美術館主催 対面+オンラインセミナー
— 広島仏壇制作の
塗師に聴く —

緻密で、繊細な手わざから生まれ出る伝統工芸品。かつては当たり前のように家にあり、暮らしを彩っていた品々。それが今、ひとつ、またひとつ姿を消しつつあります。そして私たちはそのことに気づかずにいる。

伝統技術は、一度途絶えたとともに戻すことは容易ではありません。この喪失は、私たちの何かの消失につながるのではないか。一度、立ち止まり、考える機会があってもいいのではないのでしょうか。

今回、広島の伝統工芸と「広島大学地域の元気応援プロジェクト」を取り上げ、モノと対話する塗師にお話をお聴きします。



伊藤 奈保子 いたう なおこ

東京巢鴨の神仏具店に生まれる。平成6年(1994)大正大学大学院真言学博士課程後期満期退学、2004年総合研究大学院大学国際日本研究専攻博士課程後期満期退学 2005年インドネシア・パジャジャラン大学・2006年ガジャマダ大の非常勤講師、平成19年(2007)広島大学文学研究科准教授着任。専門はインドネシア宗教美術と日本工芸史。著書に共著『伝統工藝再考 京のうちそと』思文閣出版、『改訂版 インドネシアの宗教美術— 鑄造像と法具の世界—』法蔵館ほか。



蓮池 稔 はすいけ みのる

東広島市西条生まれ。塗師、伝統工芸士(漆塗・箔押部門)。広島県・鹿児島県で修行後、西条に戻り、広島の職人、七匠(木地師・狭間師・宮殿師・須弥壇士・蒔絵士・鍍金具師)をまとめて手作り仏壇を制作。平成11年(1999)中国通商産業局長賞をはじめ受賞多数。特に平成29年(2017)広島市長賞、経済産業大臣賞、令和2年(2020)経済産業大臣賞を受賞。日本全国第1位は広島県では初めてであり、2回連続受賞は全国初。小・中学校への伝統工芸についての出張授業を20年以上続けている。